

技術で豊かなまちづくり

平成10年8月1日

# 高知土木技士

No.23

(社)高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館5F TEL25-1844]



## 平成10年度表彰 高知県優良建設工事

施 工

株式会社 朝日工業

工 事 名

土居谷川 荒廃砂防工事

(荒廃第10号)

場 所

土佐市出間

主任技術者

岡崎 洋一

## 新世紀「土佐の道中八策」

高知県土木技術監兼道路課長 畑山啓輔

最近公共事業のあり方が厳しく批判されています。中でも大きな比重を占める道路事業は、交通量の少ない地方の道路はもういらぬという都市部の人を中心とした意見が大きな声となっています。しかしながら本県のように整備の遅れている地方部では、やっと順番が回ってきてこれからというときに、このような議論をされてはたまりません。そのためにも地方の置かれている実状を広く知っていただくことが大切なことだと思います。

そのような中で平成10年度から新しい道路整備5ヶ年計画が始まります。これを契機に高知県でも新しい道路計画『土佐の道中八策』を策定しました。これまでの『土佐の道づくり10ヶ年戦略』に、県民の皆さんの新しいニーズを取り入れて、整備の進め方八策、整備方針八策、これを坂本竜馬の船中八策にちなんで『土佐の道中八策』として取りまとめました。

この計画は、アンケート等により県民の皆さんから寄せられたさまざまのご意見や有識者などで構成する道路懇談会での議論を踏まえて策定しました。

内容は、ハード、ソフト両面の観点から以下の八つの基本方針と整備の進め方を明示しています。

### 基本方針については、

- ① 高速道路などの広域的な幹線道路網の整備推進
- ② 都市機能充実のための事業推進（連続立体交差事業、TDM施策の導入等）
- ③ 地域振興や交流連携を支援する道路整備推進（交流ふれあいトンネル橋梁整備事業等）
- ④ 福祉など社会サービス向上に役立つ道路整備推進
- ⑤ 交通安全を確保する道路整備推進
- ⑥ 災害に強い安全な道路整備推進（落石対策総合整備事業等）
- ⑦ すぐよく分かる情報化の推進（道の駅情報化等）
- ⑧ 既存道路を有効活用するための維持管理事業の推進

### 整備の進め方については、

- ① 事業の重点集中化による効率的な投資
  - ② 建設コストの縮減
  - ③ 透明性の確保と住民参加の推進（あたたかな道づくり等）
  - ④ 自然環境や景観への配慮（木の香る道づくり・エコロード等）
  - ⑤ 地域の実情に合わせた道路規格の選択（1.5車の道路整備等）
  - ⑥ 農道林道などとの調整連携
  - ⑦ 社会実験の導入（KOKORO'97等）
  - ⑧ 評価システムの導入
- となっています。

今度は、この計画にもとづき主要な道路について10年間の具体的な整備プログラムを近く公表する予定です。

いずれにしても県民の皆さんからの道路整備に対する多くの要望を戴いており、厳しい財政状況のもと様々な工夫をしながら頑張っていきたいと思っています。

高知県土木施工管理技士会の皆様のご理解ご指導をお願いしますとともに当会のますますのご活躍をお祈りします。



## ● 技術コーナー ●

# 日本一のコンベヤー・ トンネルの掘進

大旺建設(株) 技術部長 小林 隆之



## プ ロ ロ ー グ

茫茫30年。日鉄鉱業(株)が社運を賭して開発した鳥形山石灰石鉱山は、昭和44年春に全くの零からスタートし、僅か2年という驚異的なスピードで完成したのは奇跡と言う他はない。

年産1,440万tは名実共に日本一で、我々土木界にとって必須資材である鉄・セメントの素材である石灰石無くして土木工事は成り立たない。

埋蔵量15億tは無尽蔵に近い！ だが海拔1,459mの高所に在って、しかも海岸まで遙か23kmもある。如何にして日産5万tもの石を破碎、運搬して船積しようとするのか？ 答は、当時ドイツでワイヤー・ロープの入ったベルトが発明され、1本のコンベヤー長が10kmという常識では考えられない運搬手段が確立されていた。

山又山の峻険な四国山脈、23kmのコンベヤーに22kmのコンベヤー・トンネル、それに海岸～山頂の高低差が約1,500m！

1年で掘進、半年で覆工とコンベヤー基礎、残る半年でコンベヤーの敷設・試運転という苛酷なスケジュールは、鉄鋼メーカーの巨大高炉火入れの日に合わせる絶対条件があった。

JVなしの大手建設会社5社に地元2社の1年半に亘る、それは壮観な掘進オリンピックで、最盛時18ヶ所の切羽が同時稼働して月進2,600mにも達したが、1年余りで貫通式、到達式を12回も実施したのはギネス・ブック入りであろうか。



No 6 - 2 水平坑貫通式

## 坑道掘進実績表

| 坑道名      |        | 勾配   | 掘進m数   | 工事期間          | 工事担当           |
|----------|--------|------|--------|---------------|----------------|
|          |        | %    | m      |               |                |
| No 1     | 大植横坑   | 0.3  | 459    | 昭和44. 4~44. 9 | 鹿島建設           |
|          | B C 坑道 | 21.3 | 1,043  | 昭和44. 8~45. 6 | //             |
| No 2     | B C 坑道 | 21.9 | 892    | 昭和44. 5~45. 2 | //             |
| No 3 - 1 | B C 坑道 | 0.4  | 2,364  | 昭和44. 4~45. 4 | //             |
| No 3 - 2 | B C 坑道 | 2.5  | 2,108  | 昭和44. 5~45. 4 | 大成建設           |
| No 3 - 3 | B C 坑道 | 2.5  | 75     | 昭和44. 6~44. 9 | //             |
| No 4     | B C 坑道 | 22.9 | 753    | 昭和44.10~45. 3 | //             |
| No 5     | B C 坑道 | 4.3  | 744    | 昭和44. 4~44. 9 | //             |
| No 6 - 1 | 金剛横坑   | 0.4  | 199    | 昭和44. 6~44. 7 | 銭高組            |
|          | B C 坑道 | 0.6  | 840    | 昭和44. 8~45. 3 | //             |
| No 6 - 2 | B C 坑道 | 0.3  | 1,808  | 昭和44. 7~45. 4 | //             |
| No 6 - 3 | B C 坑道 | 1.2  | 2,375  | 昭和44. 5~45. 4 | 三井建設           |
| No 6 - 4 | B C 坑道 | 2.4  | 214    | 昭和44. 5~44. 7 | //             |
| No 6 - 5 | B C 坑道 | 3.2  | 430    | 昭和44.11~45. 1 | //             |
| No 6 - 6 | B C 坑道 | 2.4  | 1,491  | 昭和44. 4~44.11 | //             |
| No 7 - 1 | B C 坑道 | 0.3  | 524    | 昭和44. 7~44.10 | 大林組            |
| No 7 - 2 | B C 坑道 | 0.3  | 1,692  | 昭和44. 5~45. 3 | //             |
| No 7 - 3 | B C 坑道 | 0    | 972    | 昭和44. 7~45. 3 | //             |
| No 7 - 4 | 下郷横坑   | 0.3  | 336    | 昭和44. 5~44. 8 | //             |
|          | B C 坑道 | 0.1  | 1,300  | 昭和44. 6~45. 3 | //             |
| No 7 - 5 | B C 坑道 | 1.7  | 1,398  | 昭和44. 7~45. 4 | 柳生建設(現・大旺建設)   |
| No 8     | B C 坑道 | 10.1 | 120    | 昭和45. 6~45. 7 | 三谷組(現・ミタニ建設工業) |
| 合 計      |        |      | 22,147 | 昭和44. 4~45. 7 |                |

- (注) 1. この他、水抜坑道を3本計2千m余掘進した。  
 2. コンベヤーは8本計22,715m、揚程は-849m、最長のNo.6コンベヤーは機長7,728m、350KWモーター4台で、当時世界最長だった。  
 3. マイナス揚程を利用して、3本の斜坑コンベヤーは輸送中モーター・ブレーキで、水力発電と同じ原理の石力発電になり、他のコンベヤーの動力源になる。

## エピソード・その1

## 長距離斜坑の昇掘進

仁淀村に勾配約22%、延長1,000m余の斜坑が2本あり、卸掘進の施工は6㎡の小断面で1,000mの実績がなく、筆者自身も嘗て北海道で探鉱斜坑を2本水没させた苦い経験があった。反対の長距離昇掘進は全く例がなく、施工業者に宿題を与えたがゼロ解答。

そうだ！彼等に経験のない鉱山専用機スクレーパーでは？

試行錯誤の繰返しと、業者との討論の末、ずり積みは鋼製移動台の上部に10馬力エア・モーター付きの複胴スラッシャーを載せ、切羽にはこれとペアの0.2㎡スクレーパーを配した。一方、ずり運搬は移動台の下部に大径の滑車を取付け、坑外に100馬力の単胴ウインチを定置して2㎡の自動ずり捨てスキップを斜坑上に運行させた。

結果は月間最高140mの予想外なスピードで無事故貫通した。



No 2 斜坑貫通式

## エピソード・その2

### 梯子インバート

葉山村のNo.6-2坑を掘進中、泥岩（粘土の固結した軟弱岩）に当って難航した。実はこの付近に日本最大級の大断層・中央構造線に並行する仏像構造線が通っており、岩盤が一般に脆弱化している。

湧水と湿気で膨脹し、先ず矢板が次第に弓のように曲り、次いでH支保工の足元を押し出し、最後にそれが振れて坐屈して、手間のかかる縫い返しで切羽は進まず、至上命令の工期に問題が生じてきた。

結局は石に聞くより仕方がないと、終日現場に座り込んで気付いたのは自然に逆らうなという事。隙間なく張られた側壁の松矢板を所々抜き、膨脹しようとする泥岩を板の間から自然に外に絞り出させたら収束した。

然しコンクリート覆工後、今度は床面の泥岩が膨れ上がるという大問題が発生し、コンベヤーの基礎が置けない。慌てたが、これも自然に反抗しないよう、覆工コンクリートの下端で飛び飛びの梯子状にコンクリート梁（インバート）を固着させてコンベヤーの基礎にしたら膨脹も無理なく収まった。

## エピソード・その3

### 水平坑の濁水対策

須崎市のNo.7-5坑は透水性の四万十層硬質砂岩が多く、掘進につれて湧水が増え、遂に沢水が涸れ、高価な鯉を死なせて地元に吊し上げられた。

掘進すると坑内水は必ず濁り鯉も育たないが、トンネル内をよく見ていたら所々で床面から清水が湧き出て側溝に入り、切羽からの濁水と混じって坑外に出る。

湧水ヶ所の前後で地面すれすれにコンクリート堰を設けて濁水を遮断し、その間の側溝内に太いパイプを濁水のパイパスとし、湧出する清水は側溝に集めて堰の後端から坑口まで小径パイプを引いて導いたが、勿論、堰間の地面はコンクリートでカバーした。

今考えると、もっとよい方法があったような気がする。

## エピソード

1年半で使った金が30億円余、時価では？ 技術屋冥利に尽きた大工事であったし、エピソードもこれ以外に山程ある。

それにしても科学技術の進歩は目を見張るものがあり、2号榎ダイナマトが含水爆薬に、当時のレッグドリルは今殆ど見当たらないし、H支保工・矢板の掘進工法もNATMに変わった……最後に開発が終った時詠んだ拙詩を紹介する。

鳥形山鉞山開発

鳥形青峰五百丈  
山嶺白堊無盡藏  
重機咆哮硝煙滿  
無限長帶到黒潮

（注）  
3, 2, 1. 丈は10尺、約3m  
白堊は石灰石  
無限長帯は長距離  
ベルト・コンベヤー

● 技術コーナー ●

## 観光名所の復活へ はりまや橋高欄のリニューアルをして

入交建設株式会社 土木部 横山 巖



### 1. はじめに

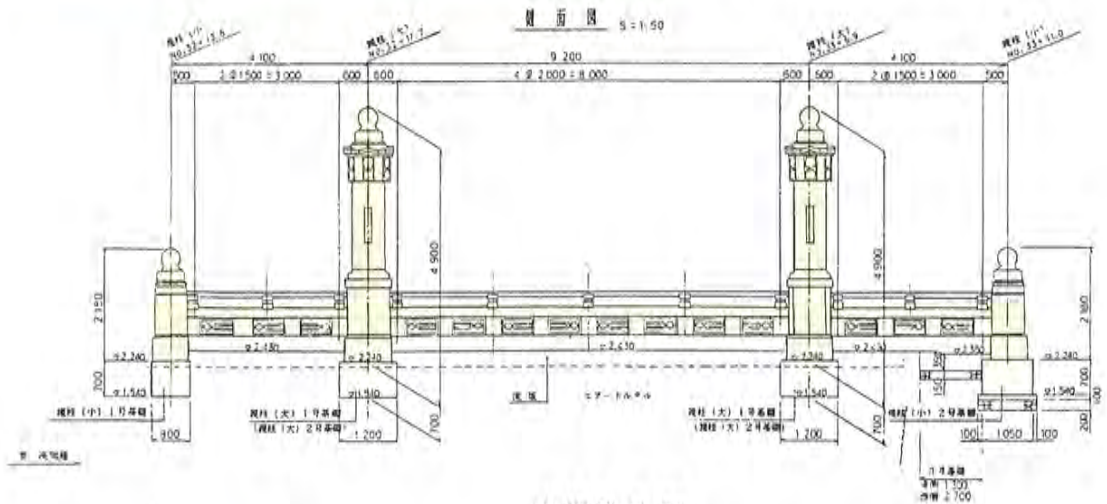
はりまや橋はペギー葉山の歌『南国土佐をあとにして』の♪坊さんかんざしかうを見た♪で有名になったところであり、又、現代の日本三大がっかり名所の一つとして高知県から全国へ通じる観光の名所であることは皆さんもご存じのことだろうと思われます。そのはりまや橋は、その昔明治41年に播磨屋宗徳が私道の一部に架けられたものが始まりで、その後道路の拡幅や戦火等の影響を経て、現在の石の欄干と朱色で塗られた木製の欄干となっていました。又、橋の下を流れていた堀川も埋め立てられ市民の憩いの場として公園となり川の存在のない欄干だけが残っていたのです。その公園の改築を高知市が行うことと、相まって建設省が高知駅前通りの景観整備事業として国道32号線の高知駅からはりまや橋交差点までの景観整備工事を計画しその一部としてはりまや橋の高欄移設工事を行ったものです。

### 2. 工事の概要

工事の内容は、車道と歩道との境にある朱色で塗られた木製の欄干（昭和42年完成）を高知市施工で撤去し、その場所へ建設省側が歩道外側の石製の親柱（大4基、小2基）を再利用するように撤去し、親柱（小2基）と高欄部全部を新規石材にて補充し設置する工事であった。工事内容を見たとき、私達の世代では大変なじみがあり、全国的にも知られた朱塗りの欄干が消える事を寂しく感じたのですが、近所の年配の方の話を聞くと、“石の欄干の方が歴史の重みがあってよい” とのみかたをしており、いくぶんか寂しさを消すことができ、かえって立派な欄干を造ることへの意欲が増したことでした。

### 3. 準備作業

工事着手するに当たり石の欄干の撤去時期、方法、朱塗りの欄干の撤去日を考慮した石の欄干の設置時期の検討をした。石の欄干の撤去は、高知市の1年中で1番の祭りである“よさこい祭り”の終わるのを待って8月中旬以降にしよう。朱塗りの欄干も撤去された後は欄干が何もなくなり観光客に寂しい思いをさせないために、仮設鋼板に朱塗りの欄干のイラストをイメージアップも兼ねて書いておこう。そんな欄干のない期間を少しでも短くするために朱塗り高欄撤去後すぐに石の高欄設置にかかれるようにする。そのために石材の準備を前以てしておこう。以上のような順序と方法で行うが、いずれも現地での作業を最小限にすることにより、振動騒音をできるだけ押さえ短期間に仕上げることを基本的な考え方として進めることを発注者と確認し施工計画に入った。



高欄構造図

#### 4. 調査撤去工事

施工計画ではまず旧石材と新規石材との色調の調和確認、又、新設置場所が車道に面する為、外部からの衝突荷重を考慮した応力計算による内部補強をした構造設計が急がれ、旧親柱の大きな物のうち1本を前以て調査目的で撤去することとなった。

古い資料がないために、旧親柱は外観から想像するところ何枚かの加工した石を張り合わせ、1段毎に中の隙間にコンクリートを流し込んで造ったのではないかと読み取れた。そのため現地にて1枚ずつはがして行くことを考えたがクレーン据付けヤードや解体作業者の足場のスペースが狭い事、又、作業時に出る騒音やほこりの事、高知県一番の通行量を考えると安全上にも危険度が高く、通行規制も無理で昼間のこういった作業方法は断念した。その為交通規制のできる夜間、無振動無騒音であり内部構造に左右されることも少ないワイヤーソーにて、大きく輪切りに2カ所切断して現地から工場に持ち帰り、十分な施設のもとで石材の素材を痛めることの無いよう、慎重にワイヤーソーやチップパー、セリ矢等を用い小ばらしすることとした。

現地での撤去作業は切断位置を石材を傷めない様に水平方向の目地に合わすためワイヤーソーの据え付けにかなりの労力を割いた事と、石の隙間に木製のキャンパーを使用していた箇所や、コンクリートの充填不良箇所ではワイヤーソーの回転にかなりの摩擦力が加わり大変時間を費やした。こういった難関も熟練した専門業者の適切な対応で無事行われた。又、上空にあるクモの巣のように張り巡らした架空線の下での作業は困難であり、大型のラフタークレーンを使用し架線をまたいで撤去作業を行い、順調に完了できた。地域の住民にも作業の騒音や振動の影響が無かったことや、工場での調査解体の結果も踏まえ、残りの親柱の撤去も同様の方法にて順次撤去して行くこととした。

## 5. 調査撤去の結果に基づく設計の見直しと適した施工の検討実施

工場での調査解体により石材の形や内部の状況が分かったため、即座に補強を考えた設計を行うこととなった。補強材はあらかじめ建設省で主材に円形の鋼管を考慮しており指示されていたため、それを応用した形をとり石材の一部加工を施し組み立て用鉄筋も組み入れ設計ができあがった。ただ施工に際し、設置場所の基礎付近に電線管が埋設されておったり、旧橋梁の形状が不規則で、設計業者とやり取りをしながら、一部現地に合わせた形でなおかつ応力的にも問題のない適切な形に各箇所を変更し施工した。

高欄本体工事を進めるにあたり、石材の表面仕上げについて新旧の色の調和を当初古い歴史を感じ取れるように少し汚れた重たいイメージの仕上げ方法はどうかという意見もあったが、やはり新しく作り直されたことを強調するように明るい感じに全体を仕上げようと決めた。当初旧石材の表面処理は水洗いだったが旧石材の染みが結構強く石材の表面に浸透しているため薬品処理では限度が有り実験調査でも余り効果がなかった事から、旧石材を少し削り新旧ともに、本磨きとして工場製作に取り掛かることとした。又、建設省からも旧親柱の材料をなるべく使うように要請も有り、灯具についてもていねいに取り外したところボルトや金具は別としてフレームに痛みはなく、石柱間にあるかんざしパネルと共に再利用することとした。

再利用する材料は、素材の凹凸にかかわらず傷めずに素地を出すためにサンドブラストにて旧塗料やごみを十分落とし、塗料は車道側での汚れに対し優れた耐久性を持ち、再塗布間が通常塗料の6倍でよい特徴を持ったVトップを使用することにより、維持管理面での利点を得ることとした。灯具の電球は周りの景観に合わせ、ほんやり明るい程度の照度で、橋梁上に取り付けるため振動に強く耐用年数の最も長いものを採用し、点灯のセンサーを12ルクスにして周りのネオンよりも若干早く点くようにすることによりいくぶんか目立つようにしていたが、使用後の調査で、東西別に、周囲のネオン等の照度の違いから点灯時間に少しの差が生ずるため時間によるタイマースイッチに変え適応している。さらに手摺りの真鍮パイプは、素材の色を生かし真鍮の光沢を出しながら仕上げ面にヘアーラインを入れることによって、通行者に光線の反射による障害をなくす工夫もしている。

再設置作業においては、緻密な据え付け精度が要求されるため昼間通行帯を一部常時規制し、必要最小限の作業スペースを確保して行うようにした。設置作業では、新規石材は工場ですら加工はしているので微妙な現地併せの加工だけで順調に進められたが、旧親柱の内再利用する石材は個々の大きさや接合面の角度が微妙に違い、元あった位置に同じように据え付けるがなかなか合わず、1個の石を据え付けるのに数時間もかかったことも有り、新規石材の据え付けに比べ大変な労力がかかり古いものを残すということの大変さを石工や他の作業員と共に痛感したことであった。大きなトラブルも無く全部品を取り付け、再度目地付近の段差等の調整やコーキング、磨き美装を施し、無事完了することが出来た。



## 6. おわりに

工事中は通行者や観光客、又は報道関係に大変注目を浴び、今までに無い緊張の中での作業であったが、完了後に建設省主催で高欄点灯式としてクリスマスイブの日に大々的に皆さんに完成を祝ってもらい、大変感激したものであった。またこういった今有る古いものを生かして作るという仕事をしたことが無く、今回の工事にしても、旧石材を使うことで、新規石材を使うよりも余分に費用がかかっても、新石材を山から取ることと旧石材の処分を無くしたことによる自然共有財産の保護がかなり出来たのではないかと思う。これからの土木工事の内容も考え直し、壊して新しく作り変えるところも必要ですが、その時点での費用はかなりかかっても、一度作ったものは50年間ぐらいは保存するようにし、もし手を加えるとしても再利用可能な品質のよい本物を使い作っておくことが、私達の考え努力して行かなくてはならないこれからの課題だと思う。特に皆で共有する公共のものをそうすることにより、日本の古いよい文化を守り生かして行くこととなり、今最も失われつつあり世界から注目を浴びているすばらしい日本の伝統精神の伝承になると考えるものである。



完 成

## 暑中お見舞い申し上げます

|       |         |          |             |
|-------|---------|----------|-------------|
| 会 長   | 北 村 牛 基 | 制度委員会委員長 | 田 邊 正 也     |
| 副 会 長 | 細 木 伸 一 | 技 術      | 〃 〃 松 木 正 隆 |
| 〃     | 宮 田 益 吉 | 研 修      | 〃 〃 森 田 浩 三 |
| 〃     | 森 田 昭 男 | 広 報      | 〃 〃 三 谷 育   |



## 国語の教育



(株)青木建設四国支店 高知営業所長 信高 始郎

### ■ 文字と昔の子供達

何時だったか、入学試験を前にした中学生の母親同志が話しているのをつい耳にした。「どうしたら国語の成績が上がるろうねえ」もう試験も真近い頃であったし、国語などと云う学科は急に勉強したからと云ってすぐに成績につながるものではなく、やるとすれば丸暗記ぐらいしかないのではないかとふと思った。

本誌への投稿を、締切4ヶ月も前に事務局の小花さんから御依頼を受け、即座にお引き受けしたものの、「何でもよいから、ゆっくりとよく考えて書け」と云われているみたいで、却って何も書けなくなってしまい、「技術コーナー」と「委員会コーナー」の狭間なら、むしろ「土木」に関しないものの方が息抜きによいのではないかと思いつきながらこれを書き始めた。

扱って、先程の話の続きになるが、それなら私達の旧制中学受験の頃はどんなだったかと考えてみると、種々のちがいが思い出される。

先ず第一が当時の国語と云う学科は極く日常的な学科であり、使い馴れた事を普通にやっておればそこそこの成績は残せたものであった。何しろ日常目にする当時の新聞には、小学4、5年生程度以上のむつかしい漢字には、すべて平仮名で「振り仮名」が施されていたから、意味の判らない2、3年生の子供でも平仮名さえ読めれば、読むだけなら十分に読めたのである。(当時の小学校では1年生は片仮名だけで、2年生になって始めて平仮名を習ったもので、やさしい漢字も後半でなければ出て来なかった)意味は判らなくてもいい、兔に角読んでさえおけば何時かは意味が判るだろう位に思いながら、大人の読んだ後の新聞をよく読んだものである。そんな事だから文字は自然に覚えるし、前後の成り行きから文字の意味がぼんやりではあるが察しがつき、記事内容を類推出来る事も多かった。テレビをよく見る現代の子供には種々の事を知る機会も多いが、私達の子供の頃には親が特別に買ってくれる本以外には、新聞を見るしか身近かで楽しむものはなかったのである。だから自然のうちに現代で云えば「社会科」に当る部分も同時に勉強していたのである。

小学校へ入って間もない頃、こんな事があった。西宮や神戸の街にはレコード屋が沢山あり「蓄音機」で当時の流行歌(はやりうたと云った)をかけ売らんかなの商戦でにぎわっていた。当時の大人や青年達も、蓄音機やレコードを簡単に買える位裕福ではなかったらしく、レコード屋の入口にぶら下がっている(今なら机の脇のメモ用紙のように)歌詞を片手に何人かが集まり、小声で口ずさんでいるのをよく見かけた。こちらは未だ小さいのでその歌詞には手が届かないし、「大人用」のものを取ってくれとも云えず、大人が取る時つい千切れて余分が地面に落ちるのを拾って家に持ち帰ったものである。(何となく読んでみたかっただけで、無論殆んどが読めなかった)

その頃、世界の空を飛んでいた飛行機は幼稚なもので、プロペラ式の固定車輪を付けたものばかりだったから、地球を股にかけて遠距離飛行が出来るものは少なかった。それを「航

空後進国」である日本が、朝日新聞の「純国産機」でこれ又純日本人パイロット飯沼飛行士と塚越機関士（西宮市鳴尾出身）を乗り組ませ、途中何回か給油しながらも東京とロンドンの空15,000軒を飛んだものだから、日本国中が湧きに湧いた。その飛行機の名が「神風」（若い皆さんへ……後の太平洋戦争での特攻機ではない）その喜びの流行歌の1番がこれである。

銀翼燦と輝けば  
航空日本躍進の  
使命は重し国産機  
征けや神風空遠く

「銀翼燦」が判らない。「躍進」が判らない。「国産機」が判らない。判ったのは何となく「神風が遠くの空へ飛んで行ったんだなあ」位であった。その意味が判り、それを文字に書けるようになったのは、その歌が人の記憶から消えて歌われなくなり、歌詞のピラを拾った思い出が遠いものとなった随分後の事である。それまでその歌は、私にとっては文字でもなく音譜でもなく、唯「耳で覚えただけの歌詞」と「節」だけで私の脳裏に生きていたのである。

私が最初にした2人の母親達に云って上げたかったのは、「国語はわざわざ時間をかけて学ぶものではなく、何よりも先ずなじむものである」と云う事であった。

## ■ 美しい国語への進化のために

よく耳にする言葉に「ようやく」と云うのがある。「ようやく」と「やくと」を合成した言葉であろう。それが使われている状況から見て、「ようやく間に合った」とか「やくとの思いでたどりついた」と云う場合で、その片方何れかを正しく使えば、2つの言葉を合成する必要の全くない言葉である。多分舌足らずの子供達の「赤ちゃん言葉」だろうと思っていた。ところがこれが使われ始めて間もない頃、テレビ出演の大学教授が臆面もなくこれを乱発しているのには驚いた。舌足らずの少年ならいざ知らず、「舌足らずの大学教授」が公器たるテレビに出演して恥ずかし気もなくこれを乱発する……。何を専攻する先生だったか忘れたが、子供の頃から国語をきちんと身につけていたら、こんな事にはならなかったと思う。

又近頃は、言葉を矢鱈と切り詰めて簡略化しようとする風潮がある。「県庁の住所」もこの類かも知れない。住所とは各人の生活の本拠地であり、そこに住むからこそ住所である。県庁は住むためのものではなく、県庁組織と建物がある事は「所在」するものであって住所とは云わない。ここへわざわざ商法の考えを持ち込まなくても、日本にはそれにふさわしく語り継がれた言葉があり、それに従いたい。私達は且つて「県庁の所在地」とは云ったが「県庁の住所」とか「お城の住所」とは云わなかった。こうした言葉の乱れを省みずそれが次第に日本の主流となり、日本語を大切に、それを美しく進化させようとする人達が少数派となりつつあるのは、それは日本人古来の謙虚さがそれを声高に云わせない事に由来するのを知られていないのが残念である。



事務局

だより

# 平成10年度通常総会の開催

5月19日(火)午後3時から平成10年度通常総会を三翠園で開催。出席者103名(委任状1,342名)

来賓として、知事(代理・山田土木部副部長)をはじめ(社)高知県森林土木協会、(社)高知林業土木協会、西日本建設業保証(株)から各代表のご臨席をいただきました。

北村会長あいさつの後、議案審議に入り、第1号議案 平成9年度事業報告並びに収支決算について。第2号議案 平成10年度事業計画並びに収支予算(案)について。第3号議案 役員を選任(任期満了に伴うもの)等が審議され、満場一致で議決承認されました。

つづいて、功績者表彰(1名)及び土木施工管理技術賞(20名)の表彰式が行なわれ、知事(代理・山田土木部副部長)からご祝辞をいただきました。

各受賞者は別記の方々です。



平成10年度 功績表彰者並びに 土木施工管理技術賞 受賞者

## 平成10年度功績表彰者

|    |      |       |      |    |         |
|----|------|-------|------|----|---------|
| 氏名 | 三谷 齊 | 当会役職名 | 常任理事 | 所属 | 入交建設(株) |
|----|------|-------|------|----|---------|

## 平成10年度土木施工管理技術賞受賞者

(順不同)

| 氏名     | 所属         | 所在地           | 氏名    | 所属         | 所在地          |
|--------|------------|---------------|-------|------------|--------------|
| 建設省 工事 |            |               |       |            |              |
| 森沢昌文   | 1級土木施工管理技士 | (株)竹内建設 高知市   | 山岡喜也  | 1級土木施工管理技士 | (株)伊与田組 宿毛市  |
| 高知県 工事 |            |               |       |            |              |
| 菊池啓    | 1級土木施工管理技士 | (株)春野工業 春野町   | 萩原康史  | 1級土木施工管理技士 | (株)田邊建設 大正町  |
| 古田界    | 1          | (株)竹内建設 高知市   | 西田善章  | 2          | (有)谷脇工業 東津野村 |
| 山下鹿男   | 1          | (株)土居建設 佐賀町   | 井口勝成  | 2          | 井口建設 室戸市     |
| 杭野悟    | 1          | 黒岩工業(株) 土佐山田町 | 田村功   | 1          | 四国開発(株) 野市町  |
| 式地健一   | 1          | (有)川田建設 土佐町   | 上田晋一郎 | 1          | (株)轟組 高知市    |
| 井上義教   | 1          | 田中建設(株) 日高村   | 安岡増廣  | 2          | (株)田中組 中村市   |
| 澤松恭弘   | 2          | 公文建設(株) 宿毛市   | 岡林武彦  | 1          | 明治建設(有) 土佐町  |
| 清岡尚靖   | 1          | (有)岩城組 馬路村    | 長山清   | 1          | 鍋島建設(株) 須崎市  |
| 村田昭憲   | 1          | 四国土建(株) 高知市   | 松本林   | 1          | (株)安喜建設 宿毛市  |

# 新役員名簿

H10. 5. 19

| 役職名  | 氏名    | 所属              | 役職名 | 氏名    | 所属               |
|------|-------|-----------------|-----|-------|------------------|
| 会長   | 北村牛基  | 長香開発(株)         | 理事  | 田邊聖   | (株)田邊建設          |
| 副会長  | 細木伸一  | (株)セイミツ         | 〃   | 植田英久  | 植田興業(株)          |
| 〃    | 森田昭男  | 日本鋼管(株)         | 〃   | 所谷幸雄  | 所谷建設(株)          |
| 〃    | 宮田益吉  | 宮田建設(株)         | 〃   | 平田安司  | 潮建設              |
| 常任理事 | 青木誠光  | 青木建設(株)         | 〃   | 尾崎正守  | (社)高知県測量設計業協会    |
| 〃    | 伊与田保男 | (株)伊与田組         | 〃   | 岩市卓雄  | (社)高知林業土木協会      |
| 〃    | 高橋久雄  | (有)土佐建設         | 〃   | 竹内隆造  | (株)西沢組           |
| 〃    | 田村昭   | (社)高知県森林土木協会    | 〃   | 東山瑞穂  | 東山建設(株)          |
| 〃    | 田邊正也  | (株)田邊建設         | 〃   | 松本義彦  | 香長建設(株)          |
| 〃    | 三谷齊   | 入交建設(株)         | 〃   | 谷昭    | 須崎工業(株)          |
| 〃    | 松木正隆  | 日産建設(株)四国支店     | 〃   | 浜田聖二  | ミタニ建設工業(株)       |
| 〃    | 山崎濟   | (株)山崎興業         | 〃   | 田中允泰  | 田中建設(株)          |
| 〃    | 森田浩三  | 東興建設(株)高知営業所    | 〃   | 徳原勝彦  | 関西土木(株)          |
| 〃    | 時久義廣  | (株)時久建設         | 〃   | 大場智公  | 福留開発(株)          |
| 〃    | 小林隆之  | 大旺建設(株)         | 〃   | 宮田喜弘  | 大宮建設(株)          |
| 専務理事 | 吉澤健   | (社)高知県土木施工管理技士会 | 〃   | 田内瑞穂  | (株)時久建設          |
| 理事   | 山脇俊二  | (社)高知県建設技術公社    | 〃   | 斉藤楠一  | (株)晃立            |
| 〃    | 三浦功   | 県高知土木事務所        | 〃   | 奥田良彦  | (株)生田組           |
| 〃    | 中村考男  | 〃南国土木事務所        | 〃   | 前田嘉道  | (株)轟組            |
| 〃    | 西内隆一  | 〃伊野土木事務所        | 〃   | 小松精二  | (株)竹内建設          |
| 〃    | 金子繁昌  | 〃中村土木事務所        | 〃   | 河野通久  | 大野興業(株)          |
| 〃    | 松浦保雄  | 高知市都市建設部        | 〃   | 山本嘉忠  | (有)手箱建設          |
| 〃    | 西本篤郎  | 西本興業(株)         | 〃   | 公文重徳  | (株)サン土木コンサルタント   |
| 〃    | 萩野昭雄  | ハギノ建設(株)        | 〃   | 徳弘竹二郎 | (株)協和コンサルタンツ高知支店 |
| 〃    | 岡崎隆   | 四国開発(株)         | 〃   | 西谷宏志  | 藤本建設(株)          |
| 〃    | 宮田静喜  | (株)春野工業         | 監事  | 溝渕淳二  | 溝渕建設(株)          |
| 〃    | 織田好和  | 織田建設(有)         | 〃   | 箭野信敏  | 県高知河川事務所         |

## 委員会委員名簿

| 役職名   | 氏名      | 所属                   | 役職名   | 氏名             | 所属                      |
|-------|---------|----------------------|-------|----------------|-------------------------|
| 制度委員会 | 委員長     | 田邊 正也 (株) 田邊建設       | 研修委員会 | 委員             | 徳弘 竹二郎 (株)協和コンサルタンツ高知支店 |
|       | 副委員長    | 宮田 喜弘 大宮建設 (株)       |       | 委員長            | 森田 浩三 東興建設(株)高知営業所      |
|       | 委員      | 溝渕 淳二 溝渕建設 (株)       |       | 副委員長           | 有沢 速雄 長香開発 (株)          |
|       | 〃       | 嶋崎 勝昭 (株) 晃立         |       | 委員             | 高嶋 誠一 五洋建設(株)四国支店       |
|       | 〃       | 岩城 立郎 (有) 岩城組        |       | 〃              | 森本 修功 (株) 森本興業          |
|       | 〃       | 廣田 一男 高吾土建工業企業組合     |       | 〃              | 松尾 大道 (株) 四国トライ         |
|       | 〃       | 田中 允泰 田中建設 (株)       |       | 〃              | 片岡 英則 西田鉄工(株)四国営業所      |
| 技術委員会 | 〃       | 山本 修 山本建設 (株)        | 〃     | 川島 将夫 大旺建設 (株) |                         |
|       | 委員長     | 松木 正隆 日産建設(株)四国支店    | 広報委員会 | 委員長            | 三谷 齊 入交建設 (株)           |
|       | 副委員長    | 渡部 守男 川田建設(株)高知営業所   |       | 副委員長           | 小花 章生 〃                 |
|       | 委員      | 隅田 孝一 (株)サン土木コンサルタント |       | 委員             | 西沢 博之 (株) 西沢組           |
|       | 〃       | 石建国 元 (株) 石建組        |       | 〃              | 政岡 浅義 (有) 八幡土木工業        |
|       | 〃       | 前田 嘉道 (株) 轟組         |       | 〃              | 山崎 伝三郎 高大建設 (株)         |
|       | 〃       | 島田 博仁 高知県土木部技術管理室    |       | 〃              | 山本 郁夫 利根コンサルタント(株)四国支店  |
| 〃     | 川田 秀男 〃 | 〃                    |       | 川淵 好一 日豊 (株)   |                         |

🌸 受賞おめでとうございます 🌸

### 平成10年春の叙勲と褒章

- 森田 昭男 氏 勲四等瑞宝章 建設行政の向上に尽くされた功績  
(副会長・日本鋼管(株))
- 政岡 浅義 氏 黄綬褒章 建設業界及び関係団体の発展に尽くされた功績  
(広報委員・(有)八幡土木工業) (受賞者には当会表彰規程による顕彰を行いました。)

### 平成10年度優良工事従事技術者表彰 (第1回)

(社)全国土木施工管理技士会連合会長表彰

| 氏名                 | 所属      | 受賞事由                                       |
|--------------------|---------|--|
| 森沢 昌文 (1級土木施工管理技士) | (株)竹内建設 | 公共工事で優良工事の表彰を受けた工事に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となる。 |
| 萩原 康史 (1級土木施工管理技士) | (株)田邊建設 |  |

○この表彰は、会員の社会的地位向上と優秀な技術者の育成を目的とし、平成10年度から実施。今回の受賞者は、30都県61名で、7月16日に東京都において表彰式が行われました。

お知らせ

◎1級土木(実地試験)受験準備講習会の開催  
(日時) 9月8日(火)~9日(水) 2日間  
(場所) 高知城ホール(高知県教育会館)  
受講申込みの受付中です。  
詳細は会員あて開催案内(発送済み)  
又は技士会事務局まで。 TEL 0888-25-1844

#### ◎新会員名簿作成への協力をお願いします

平成10年度版会員名簿を作成することとなりました。近く、名簿作成用の「会員調査用紙」をお送りしますので、ご記入のうえ、ご返送下さるようお願いいたします。なお、今回は、記載内容、書式等に変更があり、より正確を期するため、ご多忙中とは存じますが、ご協力をお願いします。

### 編集後記

- 真夏の小瀧新内閣の誕生。  
顔触れから派閥順送りの感は拭えず、国民の期待も今ひとつというところ。  
先ずは、景気回復を最優先でお願いします。
- 人事異動について  
吉澤専務理事(事務局長)が9月末をもって退職することとなりました。後任には戸梶和彦さんが就任の予定です。  
…「在職中は、会員及び関係者の皆様から格別のご指導、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。皆様のご多幸と当会の上昇を祈ります。」 吉澤 押